

第36号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ポライト第2ビル202
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 後藤正三
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 堀池有

せたがや町総連だより

あけましておめでとうございます



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。平素は町会総連合会に対し

まして特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年は二〇二〇年オリンピック・パラリンピックの東京招致を求める都町連百万人署名活動へのご協力をお願いをいたしましたところ、約三万五千人もの方々に署名をして戴きました。ここにあらためて御礼を申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。町会・自治会の皆様

におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。
昨年、世田谷区は、おかげさまで区制八十周年を迎えることができました。その記念式典では、永年の区政へのご功勞として、町

世田谷区町会総連合会 会長

後藤正三

東京でオリンピックが開催されることは、東日本大震災からの復興とともに次世代に夢と希望を与えることができるものです。東京招致をぜひ実現したいものです。

町会総連合会の目的は、各単位町会の自主・自立性を尊重しつつ、相互の連絡協調を行うことにより、区内町会・自治会の円滑な運営と発展を図ることであります。

昨年は、未加入世帯の町会加入促進を目的としたチラシを作成しました。その中で、町総連ホームページが閲覧できる※Q

世田谷区長

保坂展人

会・自治会からも多くの皆様を表彰されたことに対して、心よりお祝い申し上げます。

本年は、世田谷区の二十年後を展望する将来構想「新たな基本構想」を策定いたします。前回の策定より十八年が経過し、区を取り巻く社会情勢も大きく変化していることから、時代の要請と変化に因應されるものにするため、区民の皆様のご意見をいただきながら、二十一世紀半ばへと歩んでいく「次の四半世紀」を見通す将来ビジョンを示していきたいと考えております。

また、本年四月からの新たな地域行政制度の展開に向けて、

Rコードを印刷しましたので、各町会・自治会ではミニホームページの充実や「お知らせ」欄の活用を進めていただきますようお願いいたします。

今後も、世田谷区をはじめ、警察・消防その他の行政機関との連絡を密にし、区民生活の安全と、福祉の向上、防災活動の強化等に努めていく所存でございます。

最後に、会員各位のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

目次

新年のご挨拶 1
地域情報
北沢地域 尊い犠牲を教訓として
防災活動に取り組む 2
玉川地域 「上用賀」町の歩みと町会活動 3
砧地域 わが町 希望ヶ丘団地 4
鳥山地域 上祖師谷に住むということ 5

世田谷地域 災害に強い町
笑顔のあふれる町をめざして ... 6
町総連ニュース 8
編集後記 8

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。

北沢地域

地域情報

尊い犠牲を教訓として

防災活動に取り組む

北沢三・四丁目西町会 防災部長 永井 恵美

東日本大震災の想像を絶する惨状が何度もくり返しテレビに写し出され、多くの人達が涙し、苦しみ、自分達に出来ることを考え続けてきました。家族や家屋、そして仕事も失い、やつとの思いで生き抜いている方々のことを思うと、この大震災は多くの人に強く深く永遠に刻みこまれたのだと思います。

え、まず逃げることに。そうすれば犠牲者は最小限に抑えられること。自助・共助・公助の意味が伝わってきました。地震が発生した時には、先ず自分、家族、そして周囲の人達の身を守り、皆で助け合える地域力を付けなければと決意しました。

町会より六名参加できました。二つの町会倉庫の中には一台ずつスタンドパイプがあります。早速町会安全マップで消火器と消火栓の位置を確認し、町会内をまわりました。鉄の蓋も女性二人で持ち上げられる話等、地元の消防団の方から励まされました。

地域の中へ歩き語る

昨年春より防災部長の役をうけました。六月二十三日に区役所で可搬式ポンプ操法とスタンドパイプの実技演習を見学しました。

公助に感謝して

七月十四日の北沢地区防災訓練の呼びかけには班ごとに訪問致しました(一一一六世

帯、三十三班)。我が町は我が班から守る心意気が伝わって来て、リジリエンス(回復力)に満ちた班の人々に触れることが出来ました。三人の民生委員ともしっかりと挨拶をいたしました。

防災訓練は前日の雨の影響もあり体育館対応でした。ご年輩の方や、初めて参加された方も多く計八十名が無事故で終了しました。消防、行政、運営関係

の方々が汗だくになって地域を支えている姿に感動、皆一体となって地域の安全、安心のため参加する大切さを実感しました。

九月四日横浜市民防災センターの見学会で三大地震の再現装置で地震体験、災害劇場では風、熱を再現する体感装置と迫力ある大映像で災害のおそろしさを体験、暗やみ体験では非常時の明かり確保の大切さを学びました。



合同防災訓練



合同防災訓練

今後の課題にむかって

九月二十八日「首都直下地震と地域防災力の向上」の研修会があり、地震国日本の歴史を平安時代にさかのぼって解説、二十一世紀

前半の日本は地震の活動期に当たる時であると説明されました。そして何が今、新しく求められているのか、三つのポイントを提示されました。

一、大勢の人に防災に関心を持つてもらい参加してもらうこと。
二、減災への取組み。
三、すばやい回復のしくみづくり。

これらが今後の課題です。年末の仕上げは初期消火訓練です。北沢二丁目協和会の皆様と合同で行ないます。また東大原小学校、校外委員の方々も参加されま

す。スタンドパイプを実際自分でやってみたい、取扱いを覚えたいとの声をいただきました。今後とも無事故を期して参ります。

玉川地域

「上用賀」町の歩みと町会活動

町会の発足

私たちの町「上用賀」は昭和四十三年に実施された新住居表示によつて誕生した町会で、かつては玉川用賀町三丁目と呼ばれていた一帯です。

昭和四十六年に、それまで属していた用賀自治会より分離独立、上用賀町会として新たに発足しました。町内には公的集会所がなかった為、当初は会長宅が町会事務所兼会議場でした。その後、民間商業施設の休業日や営業終了後の場所を借りて定例役員会を開催、活動を続けてきました。

上用賀町会 会長 金子倉一

現在は、環状八号線際にある上用賀アートホールの一室を借りて、各種町会会議を行っています。

町の環境

周辺には馬事公苑や砧公園と緑の広場を控え、東名高速、首都高三号線、環状八号線、世田谷通り等々の主要幹線道路と隣接しており、車社会の日常生活は大変便利で、居住環境には恵まれている町です。

また、町は、東西南北方向に基盤の目様な生活道路が通っているのが特色です。これは、今から八十有

余年前、昭和の初めに実施された玉川全円耕地整理事業の中で、当地の先人達が将来の住宅地化を見越して計画した英知と努力の賜物といえます。

その結果、戦前、農村の面影を残していた町は、昭和三十年代以降、一挙に住宅地化が進みました。

条通り制の採用

平成時代に入り新玉川線（現田園都市線）の用賀駅前

の様な生活道路に『条通り制』を採用したらという提案がなされました。近隣町

会とも相談を重ね、平成九年に具体化しました。

用賀駅の扇型階段を昇つて地上に出、北へ向かうと、一条通りには真福寺、無量寺と二つのお寺、二条通りには京西小、四条通り

に行けば駒大高校、九条通りに行けば駒大高校、九条通りには用賀小、そして十条通りには関東中央病院と道案内がとても便利になりました。

この条通り名は、言わば通称名ですが、七条通りは『用賀七条通り』と区行政より公認されています。

防犯活動

犯罪の無い明るいまちづくりの為の防犯活動としては、毎月一、二日、十五、十六日と四日間、地域安全の日

という垂幕を掲示しています。現在四十五名の会員の方が協力してくれています。それに町会内に馬事公苑前駐在所があるのは心強い限りです。

行事いろいろ

各種行事は、まず八月下旬に町内の馬事公苑で、せたがや区民まつりが開催され、下旬、用賀小学校校庭を会場に、上用賀やぐらの会主催の夏まつり盆踊り大会が開かれます。町会は協賛という形で参加ですが町全体のビッグイベントです。秋になると毎年十一月三日、用賀中学校を会場にした、「ようがコミュニティ・クラブ」主催のスポーツ・文化の交流フェスティバル

が行われます。これも、今回は十回目を迎えます。

街づくり活動

一方、ハード面の街づくり活動としては、上用賀一丁目と四丁目それぞれまちづくり協議会が発足しており、中・長期的展望に立つた活動が続いています。

特に上用賀四丁目まちづくり協議会は地域内の衆議院速記者養成所跡地利用について関係当局と話し合いを行い、近い将来、公園としての利用、併せて地域コミュニティ

ニティ活動の拠点づくりの要望等を出しております。

まちの防災対策

いつ起るか分からない首都圏直下型地震対策については防火防災部を中心に検討しております。『町』は引越しをいたしません。そして『町』は世代から世代へ伝えて行く贈りものです。

十年二十年后、この町で生活している人達が、本当にこの町に住んでいて良かったと思つて貰える明るい安全な町を会員の皆様と根気

良く育てて行きたいと願っています。

※参考

上用賀町会各部
構成

- ・ 総務部
- ・ 福祉文化部
- ・ 環境整備部
- ・ 防火防災部
- ・ 生活安全部
- ・ 青少年育成部
- ・ 会計部

砧地域

わが町 希望ヶ丘団地

希望ヶ丘団地自治会 副会長 池上 誠

わが町、希望ヶ丘団地は昭和四十七年十一月、船橋六、七丁目に当時は沼地だった場所に建設された高層住宅で四十年になります。一八三七世帯、古くからの入居者の多くは、高齢化が非常にすすみ、中でも

一人暮らしの高齢者が目立ち、それなりの問題を抱えております。日本全体の高齢化率は約二〇%ですが、我が団地では高齢化率約四〇%と高く、人と人とのつながりや、絆が今こそ大切な時代になつてい

ないでしょうか。団地自治会役員は、日々地域の課題に取り組んでいます。毎月一回運営会議を行います。毎月一五名が参加しを行います。毎月的美化デーは、団地内外周囲の清掃実施、新聞の回収は第



せたがやふるさと区民まつり



夏まつり 盆踊り

一、第三日曜日の二回。老人クラブ「望みの会」の食事会、自治協の活動、年中行事として暮れの餅つき大会は非常に好評で、つき上がる前から行列が出来る状態です。子供もつき手に参加し初めての餅つきに何度も挑戦しております。

もうひとつの年中行事として夏祭りは昨年で三十九回目になります。最初の頃大層賑やかに楽しんでいた当時の子供たちが最近はお父さん、お母さんになり、故郷である団地へ子供を連れて参加するようになって何時からか故郷祭りとなつております。祭りでの出店は、ほとんどが団地の住民が行い一品一品が安いので、子供たちが買える値段の設定になっています。



夏まつり



放置自転車・バイクの撤去処分

また、三月十一日の東日本大震災時には、今までに経験したことのない揺れを体験しました。高層住宅は、上層部の揺れがひどく、家具の転倒、冷蔵庫の移動、食器が落下破損、等々さまざまな被害があり、自治会役員が部屋から外に出られないお

年寄りの手助けや、ガスが出ない世帯へ役員が二人一組で一軒一軒回り、ガスを元の正常の位置に戻す作業をしました。喜んで頂いたのは勿論です。大震災後、防災に関して、皆さんが非常に関心をもたれ、その後、防災訓練を、希望ヶ丘団地自治会主催で実施いたしました。参加者にテントの設営とたたみ方を体験して頂き、「とても良かった」「この団地の避難所が希望丘中学校であることとを、今日知りました」な

どの感想がありました。また、避難時に通る道路に自転車置いてあり、自転車、バイクの整理と処理が課題です。自転車は、年百数十台、バイクにおいては、六十数台処理をしております。バイクは、バイク置き場に白線を引いてその中に置く作業を行っております。住み良い団地のため日々頑張っておりますが、近隣の町会とも綿密に連絡を取り地域発展に、今後とも頑張っております。

烏山地域

上祖師谷に住むということ

平成二十四年十月二十一日(日)晴れ渡った秋空のもと都立祖師谷公園親水テラスでは、十二回目のいこいのコンサートが行われた。特設会場には、延べ七〇〇名にも及ぶ家族連れが訪れ、

自然の風を感じながら音楽を楽しんだ。また会場周辺には地域小学校のおやじの会や商店、社協等の協力で食べ物、飲み物の出店もあり楽しさに興をそえた。音楽には人を、心をつなぐチ

カラがある。まさにそんな風景が目の前に広がっていた。もともとこのコンサートは、地域の有志による実行委員会によって開催されてきた。それが今回から上祖師谷自治会の共催となっ

上祖師谷自治会 会長 水野 貞
 総務部 広報 小家 征夫

た。このコンサートを通して世代を超えた交流やつながりが生まれ広がり、やがて音楽のまち、文化のまち上祖師谷としてここに住む人の誇りや喜びとなることを願うことである。

地域住民の安全・安心を願って活動を続けている。これからは、その安全・安心の上に住んで楽しいまち、夢と文化のあるまち上祖師谷ブランドを築くことが目標となる。上祖師谷自治会ではその目標に向かってあるときは主催者として、あるときは手伝いながら取り組んでいる。その一つが「いこいのコンサート」である。その他にも、たとえ

安全・安心のまちから、住んで楽しいまちへ
 上祖師谷自治会でも防犯部、防災・防火部、交通部、福祉厚生部などが日々

ある。その他にも、たとえ



沢山採ったよ！

ば、上祖師谷の肥えた土で行われる農業体験がある。「じゃがいもクラブ」「サツマイモクラブ」「大根クラブ」があつてそれぞれに

クシヨップや地域の歴史講座、音楽や舞踏など多岐にわたる。七月末にこの神明社境内で行われる「夕涼み会」八

地域の家族達が種蒔き、そして植え付けから収穫まで楽しんでる。小さな子ども達は裸足でふわふわの土に夢中だ。また、

月末の「夏休み子ども会」も人気だ。ただ、まだまだ参加者は地域の一部に限られる。もつと広く、もつと多くの住民に参加してもらうために自治会も知恵をだし、汗をかかなければならない。

さあ、その次の上祖師谷へ平成二十三年三月十一日以来地域とか絆と言う言葉が重さを増している。上祖師谷地区（粕谷、上祖師谷）は五町会自治会が活動し、一三、四八五世帯（三月一日現在）が生活している。住民も代々この地に住んでいる人から、近年移られた人までさまざま人がいる。職業や考え方もさ

まざままである。しかしこれから、本当にこの大所帯が一つになることが求められる。それにはまず誰もが自分のまち上祖師谷を愛することから。いこいの

コンサートと一緒に楽しんでくれた人、上祖師谷の土が大好きな人、夕涼み会や夏休み子ども会に参加してくれた人、その輪を地域の中でもつとつと広げたい。この次の上祖師谷をめざして。



夕涼み会

世田谷地域

災害に強い町 笑顔のあふれる町をめざして

三軒茶屋町会 会長 中村 忠 明

平成二十三年三月に起きた東日本大震災、平成七年

一月に起きた阪神・淡路大震災では大変多くの犠牲者

が出ています。が、大きな被害を出した災害もしばら

くたつと忘れられてしまいがちです。過去の震災で尊い犠牲者の死を無駄にせず、風化させない努力と教訓を生かすことが大切だと思います。

三軒茶屋町会におきましては、会員皆様に、自分た

ちの地域は自分たちで守るという防災に関する意識の向上と万が一の場合の速やかな対応の準備を進めていきます。

六月には防災訓練を丸山公園で、消防署、消防団、若林まちづくりセンター

のご指導、ご協力をいただき実施しました。参加者全員が取り扱い方法などの習得を目指し、水消火器による初期消火、スタンドパイプの設置方法と放水、D級ポンプの稼働方法と放水訓練を行いました。参加者の積極的で真剣な訓練は、地域防災で傍観者にならないという意欲が感じられました。

九月には、三軒茶屋小学校通学区避難所運営（避難者を受け入れる側の）訓練を実施しました。三軒茶屋小学校に避難所運営本部を立ち上げ、三軒茶屋町会、上馬北部町会、上馬西町会、若林町会、三軒茶屋小学校、PTA、消防署、消防団、世田谷区と共に体育館を中心に行いました。避難所生活でのストレスを少しでも抑えるために何をすれば良いのか、被災地に行かれて被災者の方のメンタルケアをされてこられた坂本力ノ子保健師に、具体的な事例を通して心のケアなどについてお話を伺いま



避難所運営訓練



盆踊り

した。そのあと四班に分れて、発電機操作、マンホールトイレ見学、担架搬送、バーナー操作、炊き出し訓練等を実施しました。防災訓練、避難所運営訓練のような事前対策は大変重要です。これからも地域の方に大勢参加してもらえよう、工夫していきたいと考えています。

活力ある町をめざして
毎年、小学校の夏まつりに合わせて、町会の盆踊りを開催しています。学校、

PTA、親^{おやじ}児の会の方々のご協力を得て、賑やかに行われます。校庭には浴衣姿の踊りの先生方、子どもたち、地域の先生方、子どもたちにも広がり、笑顔があふれる楽しい一日です。盆踊りで地域の人たちと顔見知りになり、挨拶を交わせる輪が広がっています。三軒茶屋町会の子どもたちは、国道二四六号線をはさんで三軒茶屋小学校、中里小学校の二つの小学校に通っています。昨年は盆踊りの日が重なり踊りの先生方も両校

に分れて参加してくれました。踊りの先生方は三軒茶屋長寿会の会員の方が中心となつて協力してくださいませ。敬老の日には八十歳以上のお年寄りのお宅へ、一軒一軒記念品をお届けしています。町会全体で三百五十軒程です。「お元気で何よりです」「ありがとう」の玄関先でのやりとりが「この頃の調子がね。」等のお話や趣味の品を見せてもらったり、ついつい長くなつてしまします。「来年も、また伺います！」いつもでもお元気でいていただきたいと実感する瞬間です。

その他、町会では新年会、バス旅行、防犯パトロール、交通安全運動、地域安全運動、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加、丸山公園、蛇崩緑道

の清掃等地域の方へ声をかけ、参加を得て実施しています。

社会福祉協議会と協力して立ち上げた「うさちゃんぽっポ」は、妊産婦から小学校入学前までの子どもと親が揃って参加する会です。三軒茶屋小学校の教室を使わせていただいています。赤ちゃんを囲んで情報交換、悩み事の相談をしながら親子共々成長しています。

地域には町会に未加入の方もいます。この方々にも行事への参加を通して加入をお願いすることも課題の一つです。人と人とのネットワークを密にしていくことが、いざという時の安全に繋がっていくと思います。

何が必要か、何ができるか、見守り続ける目が子供たちやお年寄りに注がれているまち三軒茶屋のためにみんなで力を合わせて汗を流していこうと思います。

町総連ニュース

総会

▼平成24年6月28日

第34回 ふるさと区民まつり

▼平成24年8月4日～5日

町会・自治会加入促進ポスターを掲示し、加入チラシやグッズの配布等PRを行った。

正副会長会

▼平成24年8月2日

世田谷区議団との予算要望等に関する意見交換会

▼平成24年9月27日

- 1 区民利用施設等の利用者負担見直しについて
- 2 イベント等での町会総連合会紹介コーナーの出展について
- 3 オリジナルピック・パラリンピックの招致を求める署名活動のお願い
- 4 「東京都町会連合会三〇年史」の発行について

常任理事会

▼平成24年10月26日

1 「地区力の向上と地区

防犯対策の強化について(中間のまとめ)」について

2 イベント等での町会

総連合会紹介コーナーの出展について

3 「東京都町会連合会三〇年史」の発行について

4 東京都町会連合会と東京都議会との意見交換会報告

情報誌編集委員会

▼平成24年10月12日

町総連だより第36号の編集方針等

▼平成24年11月14日

町総連だより、原稿の確認読み合わせ

▼平成24年12月12日

町総連だより、原稿の校正等

表彰

東京都功労者表彰

▼平成24年10月1日

東京都庁において、宇田川國一町総連副会長(上馬北部町会長)が東京都功労者表彰を受けました。

平成25年度総会(予定)

▼平成25年6月27日(木)

◎町会長交替のお知らせ

平成24年12月現在

地域	町会・自治会名	新会長	前会長
北沢	北沢中央自治会	五十嵐博 (会長代行)	永田博之
玉川	奥沢中和会 馬事公苑前ハイム 管理組合	鶴原典子	豊嶋福次郎
砧	船橋4丁目住宅自治会	稲垣俊雄 (会長代行)	神田純夫

◎理事交替のお知らせ

平成24年12月現在

地区	新理事	前理事
九品仏まちづくりセンター	鶴原典子	豊嶋福次郎

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成24年12月現在

役職	氏名	所属
会長	後藤正三	北沢3・4丁目西町会会長
委員長	堀池有	桜上水1丁目町会会長
副委員長	堀江義之	若林町会総務部長
委員	横山昭夫	九品仏自治会会長
委員	鮎川郁男	弦巻町会副会長
委員	池田紀明	松原5・6丁目自治会会長
委員	岡田正雄	喜多見北部町会会長
委員	吉田仁	千歳台廻沢町会会長
委員	本橋俊夫	粕谷会会長
委員	高橋和夫	烏山下町会会長

編集後記

今回初めて編集会議に参加して世田谷区は広いとつくづく感じました。知らない町で様々な町会・自治会がいろいろな活動をしています。土地柄に合った企画をし、土地柄なりの悩みを抱えて日々活動している様子がよく分かりました。

お蔭で、それぞれの町に親しみを感じるようになりました。一度訪ねてこの町はこんなことをし、こんなことを考え、こんなことで悩んでいるのだと思いつながら歩いてみたいと思いました。この町総連だよりでいろいろな町会・自治会の活動を知ることが大変有意義なことだと考えます。

編集委員 横山 昭夫